

一般質問  
松木 雅徳  
(政志会)

防 災

実施し防災能力の向上に努めているが、実践学習への取り組みが求められており、学校が保護者や地域・消防・警察等と連携を図りながら、実情等に応じ指導内容を検討し防災教育を進める必要がある。

**問** 群馬大学災害社会学工学研究室が、全国の小中学校を対象に防災教育・避難訓練の実態調査を実施し、1,968校から回答を得た分析結果によると、「防災意識の向上に加え、他者を思いやる心や自主性、地域への愛着など教育全般への様々な波及効果が高まった」とある。また、「子ども

**問** かしはら安心パークは、防災減災学習を行える施設だが、防災教育の中でどのよう

の成長に応じた防災教育が必要である」とも言われている。本市の小・中学校の防災教育はどのように行っているのか。

**答** 各小中学校では、施設の利用やそれを活用した学習内容について検討を進めている。今後、小学5年生の校外学習や教職員研修に活用したい。かしはら安心パークには、小中学生向けメニューとして、

消火や煙の中の避難を体験する消防訓練、ゲーム形式で防災を学ぶ災害想定ゲームや交通安全教室などがあり、実績としては、地元八木中学校や一部学童保育の方が来場している。利便性向上のため送迎バスも用意しており、さらなる啓発をしたい。

**問** 近年異常気象が原因と思われる災害が多発し、避難勧告の時期とその連絡体制が問

われている。本市では、安全安心メールと防災メールを配信しているが、現在の登録者

**答** 本市では、安全・安心にかかわる様々な情報を安全安心メールとして市民に情報発信し、避難勧告などより重要な情報は、各携帯電話会社のエリアメールも併せて活用している。現在、市民の方で1万3,616件の登録がある。

数。これらサービスの徹底的に利用してもらうために、自治会や防災会に対し積極的な利用の呼びかけが必要では

**問** 防災会は、おおむね自治会を単位に設立されている。市は補助金を出しているが、積極的に活動をしている団体もあれば、停滞ぎみの団体もある。どのような指導をしているのか。

**答** 市内には145団体の自主防災組織があり、組織結成率は自治会加入世帯の90%を超えているが、市内全世帯で見ると73%であり、自治会の未結成地域や未加入世帯の促進が課題である。組織への補助金は、地域の防災訓練や資器材の購入に充てられている。

**問** 平成24年10月、欧州都市行政調査団に参加し、ドイツオッフエンバッハ郡の消防関連施設を訪問したが、そこでは、消防署職員は公務員とボランティアによって構成され、体負担であった。消防団員の高齢化や若者の消防団員離れにより団員数が減少していると言われているが、本市の消防団の現状は。また、安心して消防団活動に参加してもらうための保険等はどうなっているか。

**答** 現在消防団は総勢243名で、条例定数259名を若干下回っている。定数を確保するため、啓発活動を実施している。消防団員に対する保険は、2種類の共済保険に市で加入している。

**問** 石垣島には、本市が保有・管理する昆虫館の圃場がある。平成24年7月に5名の議員で

現地視察したが、圃場は現地の方が管理し、よく手入れされ、蝶々の餌となる植物がしっかりと育っていた。近年、開発などで自然環境が失われつつある中、市民が豊かで元氣な生活を送るためにも、バランスのとれた都市や自然の環境が守られ、それを保全していく必要がある。市の総合計画の後期基本計画にも「人と自然が共生でき、調和のとれた地域づくり、まちづくり」の大切さが記載されている。昆虫館の設置目的と現状を聞きたい。

**答** 昆虫館は、全国的に子どもたちの理科離れが問題となる中、昆虫を通して自然科学への興味づけ、動機づけを行うことを目的とし、平成元年にオープンした。計画段階の目標である年間入館者数6万人を下回ったことがなく、目的はおおむね達成されている。

**問** 石垣島圃場の設置目的と、なぜ石垣島に設置しなければいけなかったのか、その必要性を聞きたい。

**答** 放蝶温室で年中放している蝶は、ほとんどが沖縄の南西諸島にのみ分布しており、この幼虫の餌となる植物も同

補助金申請や精算などで危機管理課に来られた際など、地域防災力の向上のための相談も受けている。

**問** 平成24年10月、欧州都市行政調査団に参加し、ドイツオッフエンバッハ郡の消防関連施設を訪問したが、そこでは、消防署職員は公務員とボランティアによって構成され、体負担であった。消防団員の高齢化や若者の消防団員離れにより団員数が減少していると言われているが、本市の消防団の現状は。また、安心して消防団活動に参加してもらうための保険等はどうなっているか。

**答** 現在消防団は総勢243名で、条例定数259名を若干下回っている。定数を確保するため、啓発活動を実施している。消防団員に対する保険は、2種類の共済保険に市で加入している。

**問** 石垣島には、本市が保有・管理する昆虫館の圃場がある。平成24年7月に5名の議員で

現地視察したが、圃場は現地の方が管理し、よく手入れされ、蝶々の餌となる植物がしっかりと育っていた。近年、開発などで自然環境が失われつつある中、市民が豊かで元氣な生活を送るためにも、バランスのとれた都市や自然の環境が守られ、それを保全していく必要がある。市の総合計画の後期基本計画にも「人と自然が共生でき、調和のとれた地域づくり、まちづくり」の大切さが記載されている。昆虫館の設置目的と現状を聞きたい。

**答** 昆虫館は、全国的に子どもたちの理科離れが問題となる中、昆虫を通して自然科学への興味づけ、動機づけを行うことを目的とし、平成元年にオープンした。計画段階の目標である年間入館者数6万人を下回ったことがなく、目的はおおむね達成されている。

**問** 石垣島圃場の設置目的と、なぜ石垣島に設置しなければいけなかったのか、その必要性を聞きたい。

**答** 放蝶温室で年中放している蝶は、ほとんどが沖縄の南西諸島にのみ分布しており、この幼虫の餌となる植物も同

昆虫館と石垣島